



皆さんこんにちは。まだまだ寒い日が続きますが、元気でお過ごしでしょうか？

もうすぐ年度が変わる3月に入り、行政も企業も重要な1か月間となります。日本人にとってはとても忙しい時期ですね。ドイツでは、営業年度は西暦どおり12月31日に変わります。お店は閉まり、棚卸しや在庫調べが多くて、大学生の時によくアルバイトをした時期でした。

もうクリスマスのはっきり忘れてしまいましたね。クリスマスが終わると、一般家庭でも、町の中でも、どこを歩いてもクリスマスの飾りを見なくなり、当然ですがスーパーやデパートでクリスマスのお菓子も買えなくなります。しかし、ドイツでは改めて別の飾り付けが必要になります。ドイツのカレンダーを見ると、すぐに別の行事がやってきます。それは、ドイツの復活祭「イースター祭り」！2月に入ると、どこにでもイースターに関する色々な飾りやイースターチョコレート、イースターエッグなどが登場します。では、「復活祭とはどういう意味ですか」とよく聞かれますので説明しましょう。

復活祭は、イエス・キリストの復活を記念するキリスト教最大の祭日です。日本では英語由来のイースターともいいます。イースターの日取りについて、キリスト教会では、全世界で一緒にこのキリスト教最大の祝日をお祝いできるようにという趣意で、独自の計算法を定めています。これは大変難しい計算法で、毎年違う日に来ます。現在は、春分の後の満月の次の日曜日（主日）に行われます。その起源はユダヤ教の「過ぎ越しの祭り（パサハ）」にあると推定されています。

イースターには歴史と共に様々な風習が生まれてきましたが、中でも知られているのが豊穡を示すイースターのウサギ、そして命の印である色卵、イースター・エッグでしょう。イースターエッグは、色を塗ったゆで卵であったり、卵の形をした装飾品であったりしますが、卵の模様や作り方、そして用い方は国によってそれぞれです。卵は、もともと明るく色を塗って太陽の象徴として用いられていたもので、イースターには当初、キリストの血を意味する赤い色の卵が用いられました。今ではウサギと色卵がセットになって、イースターの卵はイースターのウサギが運んでくるとされ、イースターの朝、ウサギが庭に隠した色卵を子どもたちが探し回るゲームにもなっています。

復活祭の習慣をはじめ、宗教的な背景をもっと知りたい方に、今月の「びっくり箱」をお勧めします。詳細は以下のお知らせをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

国際交流員ウリの「びっくり箱」(びっくりウリ箱)

第3回

『復活祭をもっと深く知ろう』

イースターに参加しませんか？

イースターとは、イエス・キリストの復活を喜び、共に祈り、感謝することです。イースターの後は、交流会を行います。みんなで食事をしながら楽しく過ごしましょう！

と き 3月23日(日)〔イースター・サンデー〕

と ころ 小山キリスト教会

日 程 10:15 JR小山駅東口集合(現地集合も可能)

10:40~12:00 イースター

12:00~13:30 交流会

13:30 現地解散

担 当 石田 学 牧師

定 員 30名

参加費 無料(交通費は実費)

持ち物 1人1食品(交流会のための飲み物、お菓子、料理...なんでも可)



3月10日(月)から3月19日(水)までに生活課へお申し込みください。

☎40-5555

Eメール 50002@city.shimotsuke.lg.jp